

## <メディアウオッチ> 自民圧勝で危惧される密室政治や既得権益の復活

上出 義樹

### 民主党の「敵失」による政権回帰

12月16日投票の衆院選は、圧勝した自民党の当選者の多くが自らが認めているように、決して同党に強い追い風が吹いていたわけではなく、3年前政権交代した民主党へのあまりにも深い有権者の失望感、いわば「敵失」がもたらした結果と言える。前回より投票率が大きくダウンしたことからも、有権者の戸惑いの強さが読み取れる。ともあれ、3年前とほとんど何も変わっていない自民党が、公明党とともに衆院の3分の2を制し、より右旋回しながら国政のかじを取る。

### 3年前に何とか風穴があいた情報公開や政治の透明性は大丈夫か

自民党への政権回帰で漠然と景気回復などに期待する向きもある。しかし、危惧されるのは、きな臭い改憲や原発の再稼働ばかりではない。不十分ながら民主党政権時代に少しは風穴があいた情報公開や政治の透明性が、元の木阿弥になることだ。防衛産業に従事する知人からは、「既得権益に目をつぶってくれる自民政権に戻ると仕事がやりやすくなる」との声も聞く。

### 閣僚会見などからフリーランス記者締め出しの懸念も

そして、何より気がかりなのは、記者クラブ制度など既存マスコミの既得権益に寛容な自公政権が、3年前の政権交代で一部省庁を除いて「オープン化」された閣僚（大臣）記者会見から、最悪の場合、われわれフリーランス記者を再び締め出しかねないことである。

（かみで・よしき）北海道新聞社で東京支社政治経済部、シンガポール特派員、編集委員などを担当。現在フリーランス記者。上智大大学院博士課程在学中。